

大竹市防災情報等メールサービスを 活用しましょう

市民の皆さんが携帯電話やパソコンで登録したメールアドレスに、市が防災情報などを配信します。防災行政無線で放送した内容も配信します。

大竹市防災メールサービスに登録すると、お住まいの地域の防災情報の取得がより簡単になります。配信する防災情報を参考に、災害時には早め早めの行動に努めましょう。

配信内容 ①市の防災情報など（※登録した方に必ず配信します）

- 防災行政無線の放送内容
- 市が発令する避難に関する情報
- 災害対策本部の設置 など

②市の気象情報（※希望する方に配信します）

- 大雨警報や洪水警報などの各種気象警報
- 土砂災害警戒情報 など



登録方法

- ① QRコードを読み取り、空メール（件名・本文不要）を送信してください



QRコード読み取りができない方は
bousai.otake-city@raiden.ktaiwork.jp
に空メールを送信してください。

- ② 数分以内に、登録用 URL が記載されたメールが届きます

大竹市防災情報等メール
メールサービスの仮登録が完了しました。
以下のURLから一週間以内に本登録を実施してください。
<https://raidenl-.....>

ここを選択

- ③ 配信情報を選択して「次へ」を押します。

ユーザー情報登録
○メールアドレス

○配信情報（複数選択可）
【必須】
☒ 1 大竹市防災情報等
☐ 2 大竹市気象情報
次へ

- ④ 入力内容を確認し、「登録」を押します

設定内容の確認
次の内容でよろしければ「登録」を、再度編集する場合は「戻る」を選択してください。（登録内容が表示されます）

戻る 登録

- ⑤ 登録完了です

大竹防災情報等メール利用者登録
大竹防災情報等メールへの登録が完了致しました。

※数分以内に、登録完了のお知らせメールが届きます。このメールには、登録内容変更・配信解除用のURLが記載されています。

※ 登録できない場合は、迷惑メール防止機能を設定されている可能性があります。

この場合登録する前に「otake-city@raiden.ktaiwork.jp」からのメールを受信できるように設定する必要があります。ご不明な点はお近くの各携帯電話販売店に問い合わせてください。

防災テレホンサービスで防災行政無線 の放送内容が確認できます

☎ 0120-590-131

防災行政無線の放送内容が聞き取りにくかったり、聞き逃した場合は、この電話番号に電話すると、音声が自動で流れ、放送内容を無料で確認することができます。また放送内容はホームページでも確認できます。



台風 15 号による土砂災害を警戒 大竹市内全域に避難勧告を発令しました

問い合わせ 総務課 ☎2119

8月25日9時40分に台風15号に伴う大雨の影響により、大竹市全域に避難勧告を発令しました。これは大竹市に土砂災害警戒情報が発令され、土砂災害の発生危険性が高まったことによるものでした。大竹市では土砂災害に対する避難勧告などの発令を広島県と広島地方気象台が共同で発令する「土砂災害警戒情報」や広島県の提供する「土砂災害危険度情報」を重要な判断基準としています。

状況に応じた 避難行動をしましょう

通常は、避難と言えば市が指定した避難場所に避難するというイメージがあると思います。

しかし台風15号での避難勧告発令時に、強風が吹き大雨も降っているときは、屋外へ避難することがかえって危険となる恐れがあります。そのような場合は、屋内の2階以上の方が安全なこともありますが、屋外の避難場所などへ避難するだけでなく、屋内の安全な場所に留まることも避難行動の一つの手段なのです。



災害時にどちらの避難行動が適切か瞬時に判断するため、まず、ハザードマップなどで、今住んでいる地域がどのような災害に遭う危険があるかを確認し、どの災害が起きたらどの場所に避難するかを決めておきましょう。自然災害に対しては、各人が自らの判断で避難行動をとることが原則です。「自分の命は自分で守る」という考えの下に、身の危険を感じたら躊躇することなく自主的に避難行動をとりましょう。



日頃の訓練が 災害時であなたを守ります

各地区の自主防災組織活動を紹介いたします。

○白石1丁目自主防災会

8月22日、白石1丁目の納涼祭に併せて防災学習を行いました。地域の行事に合わせて行うことにより、子どもからお年寄りの方まで多くの参加がありました。白石地区の自主防災会では平成26年度に地域独自のハザードマップを作成し、全戸に配布しています。当日は配布したマップを使用し地域の危険箇所を再確認しました。

○新町2丁目自主防災部

8月30日、納涼祭に併せて避難訓練と炊出し訓練を行いました。避難訓練では、定刻の18時までに避難場所となっている大竹会館に、高齢者や子どもを見守りながら誘い合せて避難しました。炊出し訓練では企業の協力を得て規模の大きい調理場を使用し、数多くのおにぎりを作りました。当日は約110人の参加者があり、防災訓練・納涼祭は大盛況に終わりました。



（上）白石1丁目自主防災会の学習会の様子。
（右）新町2丁目自主防災部の炊出し訓練の様子。